

平成28年度

青森市第三セクター経営評価シート

法人名称	青森駅前再開発ビル株式会社
------	---------------

市所管部課	経済部 中心市街地再生支援課
-------	----------------

評価区分	法人名、市所管部（課）名	評価者の役職・氏名
第一次評価	青森駅前再開発ビル株式会社	代表取締役社長 佐々木 淳一
第二次評価	経済部 中心市街地再生支援課	経済部長 増田 一

※第一次評価及び第二次評価については、平成28年10月時点において評価した者の名前を記載しています。

I 経営評価表

◎基本的視点1：公共性・公益性の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	目的適合性（設立目的の検証、事業主体の妥当性、事業の必要性、市施策への貢献度）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	中心市街地活性化の核的な施設であり、地下の新鮮市場、1階から4階までの商業施設を管理運営し、多数の市民に来館いただくとともに、まちづくり会社としての基本的な機能は担っているが、厳しい経営状況が続いている。	法人は、中心市街地の核的施設であるアウガを管理運営するとともに、周辺との連携によりにぎわいを創出する「まちづくり会社」の役割を担っており、市が法人に期待する役割は希薄化していないが、厳しい経営状況が続いている。
今後の 取組方針	平成26年6月に第2次再生計画を策定し、健全経営の中期の安定を目指すとともに、平成27年度は、アウガ再生プロジェクトチームを設置し、再生に向けた検討等を行った。 しかし、同チームから公共化が提言されたこと等を踏まえ、アウガ公共化を目指すこととしたことから、関係者と協議の上、商業施設を整理した上で、会社を整理することとする。	市と法人は、厳しい経営状況や、法人が設置したアウガ再生プロジェクトチームの提言等を踏まえ、アウガ商業施設の再生は困難と判断し、公共化を目指すこととした。 円滑な公共化に向け、関係者と協議の上、商業施設を整理した上で、法人を整理することとする。

◎基本的視点2：効果的・効率的な事業の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	効率性・効果性（事業実施手法等の見直し、経費の見直し）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	安定的に経営を継続するためには、店頭売上高の増加が必須であるが、店頭売上高は継続的に減少している。 更に、公共化する方針であることから、新たなテナントの誘致は難しく、店頭売上高の減少に歯止めがかかっていない。	テナント等からの売上が減少している状況を踏まえ、経費節減に努める必要がある。
今後の 取組方針	会社の整理までの間、テナント等に整理方針を十分説明し、理解を得るとともに、新たなテナント誘致が困難な状況であることを踏まえ、経費節減等の自助努力を行う。	法人の整理に向け、テナント等に整理方針を十分説明し、理解を得るとともに、経費節減等の自助努力に努める必要がある。

◎基本的視点3：独立した経営体としての視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	組織運営の健全性（経営マネジメントの検証、個人情報保護の保護、再委託の見直し）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	<p>平成25年度に部長職が退職したことから職員の業務の棚卸しを行い、業務の再配分を実施した。</p> <p>委託業務については、平成26年度から委託料の大幅な見直しを行ったが、さらに委託業務内容の見直しも継続的に行っている。</p>	<p>個人情報の保護や再委託の見直しについては、一定の取組が実施されている。</p> <p>経営マネジメントについては、社内組織の簡素化、業務の効率化に努めているが、社員の意識改革や人材育成等については更なる取組を進める必要がある。</p>
今後の 取組方針	<p>経営マネジメントについては、引き続き業務の再配分及び担当分野の拡大を進めていく。</p> <p>委託業務については、その内容の見直しにより委託料の引下げの可能性を探っていく。</p> <p>個人情報の保護については、これまでの取組を継続して進めていく。</p>	<p>個人情報の保護や再委託の見直しについては、これまでの取組を継続するとともに、経営マネジメントについては、社員の意識改革と能力の育成を進め、全社員の共通理解を図る必要がある。</p>

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	財務の健全性（財務環境、資産運用の適正性、財務諸表の適正性）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	<p>平成27年度決算では、3期連続の営業赤字となり、減損会計を適用して多額の減損損失を計上し、会社は債務超過に陥った。</p> <p>この結果を受けて、売上高の増加及び経費の削減に取り組むとともに、当面の運転資金の確保が喫緊の課題であることから、アウガ区分所有者の共有財産である修繕積立金による資金支援を受けている。</p>	<p>法人は、平成27年度決算で、減損会計を適用して多額の減損損失を計上し、約24億円の債務超過となった。</p> <p>また、信用不安によるテナントの退店等により、資金状況が悪化している。</p> <p>これらのことから、法人の整理に向けた資金確保のため、アウガ区分所有者の共有財産である修繕積立金の一部による資金支援を行う。</p>
今後の 取組方針	<p>修繕積立金を適切に管理するとともに、会社としても、賃貸料等の収入の確保及び経費支出を最大限に抑える等の対策を行う。</p>	<p>修繕積立金の適切な管理について監視するとともに、資金確保に係る法人の経営努力を求めていく。</p>

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	透明性（情報公開に関する取組）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	情報公開請求に対応できる体制の継続に加えて「フェスティバルシティアウガ」のホームページから、市のホームページの「アウガ経営情報」等のページにリンクさせている。	情報公開は一定の取組をしているものの、より主体的かつ積極的に情報提供する必要がある。
今後の 取組方針	これまでの情報公開体制を維持するとともに、更なる情報公開の方法を検討する。	これまで以上に主体的・積極的に分かりやすい情報公開に取り組む必要がある。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	自立性（経営に対する市の関与）	
評価結果	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する	<input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	市は筆頭株主であり、最大の債権者であるほか、代表取締役社長を含む3名の取締役が市のOBである。 また、市を含むアウガ区分所有者の共有財産である修繕積立金による資金支援を受けている。	市の出資比率は63.7パーセント、法人の資産に対する市からの借入金割合は242.2パーセントとなっている。 平成28年8月以降、市職員を兼務する役員はいないが、取締役の過半数が市OBとなっている。 法人は、市が一部支出したアウガ区分所有者の共有財産である修繕積立金による資金支援を受けている。
今後の 取組方針	債務超過であることから、様々な面において自立することは非常に厳しい。 会社整理に向け、市と連携し、関係者と協議を進める。	修繕積立金による資金支援を受けていることを踏まえ、経営責任を持つ法人として、法人の整理までの間、主体的に意思決定するとともに、自主・自立した経営努力を行う必要がある。

Ⅱ 法人の今後のあり方に関する取組状況

〔「青森市第三セクターに関する基本方針（平成22年10月）」に掲げた取組予定及び「青森市第三セクターの経営評価指針」（平成26年3月改訂）に記載している「経営戦略プラン」の策定等〕

作 業 事 項	実施主体	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度以降
再生計画、5ヵ年経営計画の着実な実施（H21～H25）	法人	●	---	---	---	---	
「アウガ経営戦略委員会」による継続検討	市・法人	●	---	---	---	---	
財務環境の注視	市・法人	財務環境の注視					

〔取組実績・進捗評価〕

主体	取 組 実 績（取 組 内 容）	進捗評価					
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
法人	再生計画、5ヵ年経営計画の着実な実施（H21～H25）	△	×	×	×		
	「アウガ経営戦略委員会」による継続検討	△	◎				
	財務環境の注視	△	△	△	△	△	△
	プロジェクトチームによるアウガの方向性の検討						◎
	アウガの方向性・会社のあり方についての検討・協議						△
市	「アウガ経営戦略委員会」による継続検討	△	◎				
	財務環境の注視	△	○	○	△	△	△
	アウガの方向性・会社のあり方についての検討・協議						△

【進捗評価凡例】

- ◎：予定どおり実施し終了した
- ：実施中（着手済み）ではあるが、概ね予定どおりに進んでいる
- △：実施中（着手済み）ではあるが、予定についての取組みがあまりできていない
- ×：取組んでいない（未実施・未着手）

〔進捗評価が「△」「×」の場合〕

法人コメント	市所管部コメント
<p>平成26年6月に策定した第2次再生計画は、実績が計画と乖離し、平成27年度決算で、減損会計を適用し、約24億円の債務超過となったこと等から、アウガを公共化することとし、市や関係者と協議を行ってきた。引き続き、関係者と協議しながら、アウガ公共化及び会社整理に向けた取組を進めていく。</p>	<p>市と法人は、法人の経営状況や、アウガ再生プロジェクトチームの提言等を踏まえ、アウガを公共化することとし、法人のあり方について、関係者と協議してきた。現在、同社に対する債権の取扱いについて、関係者間で結論が得られていないことから、協議により早急に結論を得た上で、アウガ公共化及び法人の整理に向けた取組を進めていく。</p>

Ⅲ 付属資料（経営評価にあたっての点検項目）

①点検結果〔総括〕

経営評価にあたっての 基本的視点	評価項目	点検 項目数	第一次点検結果 (法人点検)	第二次点検結果 (市所管部点検)
1. 公共性・公益性の視点	目的適合性	9	◎ : 7 個 ○ : 1 個 × : 1 個	◎ : 7 個 ○ : 1 個 × : 1 個
2. 効果的・効率的な事業の視点	効率性・効果性	6	◎ : 0 個 ○ : 4 個 × : 2 個	◎ : 0 個 ○ : 3 個 × : 3 個
3. 独立した経営体としての視点	組織運営の健全性	16	◎ : 7 個 ○ : 6 個 × : 3 個	◎ : 7 個 ○ : 6 個 × : 3 個
	財務の健全性	10	◎ : 2 個 ○ : 3 個 × : 5 個	◎ : 2 個 ○ : 3 個 × : 5 個
	透明性	5	◎ : 0 個 ○ : 4 個 × : 1 個	◎ : 0 個 ○ : 4 個 × : 1 個
	自立性	7	◎ : 3 個 ○ : 3 個 × : 1 個	◎ : 3 個 ○ : 3 個 × : 1 個
合 計		53	◎ : 19 個 ○ : 21 個 × : 13 個	◎ : 19 個 ○ : 20 個 × : 14 個

点検結果の凡例

◎ : 十分妥当である、十分良好である、十分対応している、十分取り組んでいる など

○ : 概ね妥当である、概ね良好である、改善の余地がある、一定程度取り組んでいる など

× : 改善を要する、非常に悪い、不十分であり改善を要する、取り組んでいない など

②点検表

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(1) 目的適合性				
(ア) 設立目的の検証					
① 設立目的（公益目的・役割）は、現在の社会経済状況に合致しているか（希薄化していないか）	※「×」の場合はその理由を記載				
			◎	◎	◎
◎：すべて合致している（希薄化していない） ×：一部合致していない部分がある（一部希薄化した）					
(イ) 事業主体の妥当性					
② 法人の実施する公益的事業が他の団体（NPO、民間事業者、他第三セクターなど）と競合していないか	※選択理由を記載				
		ビルの管理者として、ビルの維持・保守・管理に適正に対応し、来館者の「安心・安全」に努めている。また、ショッピングフロアに限定せずに公共施設、新鮮市場を含むアウガビル全館の集客対策を実施している。	◎	◎	◎
◎：競合していない、または競合しているが、合理的理由により差別化できる ○：合理的理由はないが、代替は困難である ×：競合しており、代替は比較的容易である					
③ 法人の実施する公益的事業は、市が直接実施するよりも優れている点はあるか（下記の該当項目を□→■）					
<input checked="" type="checkbox"/> 迅速な意思決定や課題対応等機動性の面で市直営よりも優れている <input checked="" type="checkbox"/> 各種コストの抑制やスピーディーな事務処理等効率性の面で市直営よりも優れている <input checked="" type="checkbox"/> プロパーに専門職員を擁している等、専門性の面で市直営よりも優れている <input type="checkbox"/> 上記以外の要素から、市直営よりも優れている		◎	◎	◎	◎
◎：3項目以上 ○：2項目 ×：1項目以下					
④ 市と法人の役割分担や責任分担が明確化されているか	※それぞれの役割・責任分担を記載				
	市	市所有施設を適正に管理するとともに、中心市街地の活性化を推進する。筆頭株主として、経営を監視する。	◎	◎	◎
法人	ビル全体の管理及び商業ゾーンを運営し、集客・増収対策を講じるとともに、アウガビル内外におけるイベント等に積極的に関わり中心市街地活性化に寄与する。	◎	◎	◎	◎
◎：明確化されている ×：明確化されているとは言えない					

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果				
					第一次点検		第二次点検		
					前年	今年	前年	今年	
(ウ) 事業の必要性									
⑤ 法人の実施している公益的事業に対する市民ニーズは低下していないか	主な点検指標名				H25年度	H26年度	H27年度		
	アウガ全館来館者数(人)				4,334,227	4,006,737	3,753,535	◎	◎
	アウガ公的施設来館者数(人)				774,895	741,863	736,174		
◎：市民ニーズは非常に高い ○：市民ニーズは概ね高い ×：市民ニーズは低下している、または市民ニーズを把握していない									
(エ) 市施策への貢献度									
⑥ 法人が実施している公益的事業は、市の諸施策の方向性と合致しているか	※市の諸施策(事業名)を記載								
	機能的でにぎわいのある都市拠点の形成 ・中心市街地活性化基本計画推進事業 ・中心市街地活性化協議会支援等事業 ・中心市街地再生支援事業 ・青森駅前多目的施設管理事務 ・青森駅前地区駐車場管理事務 ・アウガ公的施設活用事業 など				◎	◎	◎	◎	
◎：すべて合致している ○：合致している部分の方が多い ×：合致している部分が少ない、またはほとんど合致していない									
⑦ 第三セクターとして積極的に公益的事業の展開に取り組んでいるか	※主な取組内容等を記載								
	・青森ウォーターフロント活性化協議会「冬まつり実行委員会」委員の就任、参画 ・青森市中心市街地活性化協議会事業への参画 ・青森市新町商店街振興組合開催事業への参画 ・AOMORI春フェスティバルへの参画 ・青森市街づくりあきんど隊事業への参画 など、中心市街地の賑わいの創出に寄与すべく取り組んだ。				○	○	○	○	
◎：十分(市の期待以上)取り組んでいる ○：概ね(市の期待どおり)取り組んでいる ×：取り組みが不十分である									
⑧ 事業成果は向上しているか	主な点検指標名				H25年度	H26年度	H27年度		
	商業施設店頭売上高(千円) ※市場除く				1,679,065	1,565,002	1,414,848	×	×
	商業施設買上客数(人) ※市場除く				925,656	844,332	777,314		
	青森駅前再開発ビル株式会社当期損益(千円)				▲ 34,697	▲ 54,631	▲ 2,688,982		
◎：十分(市の期待以上)向上している ○：概ね(市の期待どおり)向上している ×：向上していない、または成果を把握していない									
⑨ 公益的事業の事業計画や目標数値、成果の分析、具体的な改善策などについて法人と市所管部が十分協議し、相互連携に努めているか					◎	◎	◎	◎	
	◎：十分に協議し、相互連携に努めている ×：不十分であり改善を要する								

目的適合性 点検結果計(点検項目数：9項目)	◎	7	7	7	7
	○	1	1	1	1
	×	1	1	1	1

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次点検		第二次点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(2) : 効率性・効果性							
(ア) 効率性の検証								
① 販売・一般管理費比率は適正か【地方公社・会社法人】	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	×	×	×	×
	販売・一般管理費比率 (%)	90.8	95.6	105.8				
	<合理的理由>							
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない - : (評価対象外)								
① 管理費比率は適正か【公益法人】	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	-	-	-	-
	管理費比率 (%)							
	<合理的理由>							
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない - : (評価対象外)								
② 人件費比率は適正か	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	◎	○	◎	×
	人件費比率 (%)	5.9	6.0	7.4				
	<合理的理由> 経営体制強化のための取締役の交代とそれに伴う役員報酬の引上							
◎ : 横ばい、または低くなっている ○ : 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある × : 上昇傾向にあり、適正でない								
③ 職員1人当たりの収益高	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	×	×	×	×
	職員1人当たりの収益高(千円)	61,429	59,591	54,952				
	<合理的理由>							
◎ : 横ばい、または上昇傾向にある ○ : 低下傾向にあるが、合理的な理由がある × : 低下傾向にあり、適正でない								
(イ) 効果性の検証								
④ 市民ニーズの把握に努めているか	※取組事例等を記載				○	○	○	○
	フェスティバルシティアウガのホームページにおいては、アウガニュースや催事情報をこまめにメンテナンスしているほか、フェイスブックにおいても催事情報等を公開している。 また、1階インフォメーションではお客様の声の投書ボックスを設置し、顧客のニーズに対応している。							
	◎ : あらゆる機会をとらえ、積極的に調査を行い、把握に努めている ○ : 十分ではないが、必要に応じ把握に努めている × : 不十分であり改善を要する							

具 体 的 点 検 項 目 等	点検結果			
	第一次 点検		第二次 点検	
	前年	今年	前年	今年
⑤ 事業毎に定量的な目標数値を設定し、達成状況を評価・分析しているか				
◎：すべての事業に定量的な目標を設定し、評価・分析している ○：一部の事業のみに定量的な目標を設定し、評価・分析している ×：ほとんど目標を設定していない、または評価・分析していない	○	○	○	○
⑥ 事業遂行の効率性向上のため、毎年度事業内容、事業費及び事務処理上の問題点の把握や原因分析を行い、改善を図っているか				
◎：毎年度検証し、積極的に改善・見直しに努めている ○：毎年度検証していないが、必要に応じて改善・見直しに努めている ×：ほとんど検証していない	○	○	○	○

効率性・効果性 点検結果計（点検項目：6項目）	◎	1	0	1	0
	○	3	4	3	3
	×	2	2	2	3

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(3) 組織運営の健全性				
(ア) 経営マネジメントの検証					
①	意思決定機関である理事会（取締役会）を適正に開催しているか ◎： 定期に加え、必要の都度機動的に開催している ○： 定期的な開催のみにとどまっている ×： ほとんど開催していない	◎	◎	◎	◎
②	役員報酬・退職金に関する規程を整備し、公表しているか ◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、または策定予定なし	×	×	×	×
③	経営に関する方針や計画を策定しており（明らかにされており）、全職員に周知しているか ◎： 策定されており、全職員（社員）に周知徹底している ×： 策定されていない、または策定しているが一部の職員しか把握していない	◎	◎	◎	◎
④	経営目標数値を設定する際は、組織構成員が責任をもって参画するとともに、目標を達成するために必要な業務遂行上の権限・責任の明確化を図っているか ◎： 規程等により権限・責任とも明確になっている ○： 規程等により権限のみ明確になっている ×： 明確になっていない	○	○	○	○
⑤	外部経営環境（社会経済動向・同業他法人の経営活動など）の変化に留意し、経営目標数値と実績を比較、分析して、その結果に応じて改善策や計画を見直すシステム（PDCAマネジメントサイクル）を確立しているか ◎： システムが確立され、かつ十分機能している ○： システムは確立されているが、改善の余地がある ×： システムが確立されていない	○	○	○	○
⑥	内部統制に関する各種規程等（就業規則、職務分掌規程、決裁規程など）が整備され、かつ定期的に見直しているか ◎： 各種規程等が整備され、毎年度検証している ○： 各種規程等を整備しているが、毎年度検証していない ×： 各種規程等が不十分である、またはほとんど見直ししていない	○	○	○	○
⑦	法人内部の不正や不規則を発見し、また未然に防ぐことを目的に、内部監査（当該業務担当者以外の者による相互監査）を定期的実施しているか ◎： 実施要綱等を整備し、毎年度実施している ○： 実施要綱等は整備していないが、毎年度実施している ×： 実施していない	×	×	×	×
⑧	コンプライアンス（法令順守）に関する取組を実施しているか（下記の該当項目を□→■） ■ コンプライアンスに関する内容を規定している ■ ルールブックやマニュアルを作成し、職員に配布する等周知を図っている □ 職員に対する啓発等研修の場を設定している ■ 業務監査体制を強化する体制整備や取組みを行っている □ その他、コンプライアンス経営を充実するための取組みを行っている [] ◎： 3項目以上 ○： 2～1項目 ×： 0項目	◎	◎	◎	◎
⑨	階層別研修、専門研修及び自己啓発研修などの職員の資質向上並びに優秀な人材の確保を図るための研修を計画的に実施しているか ◎： 人材育成計画にもとづき、計画的に研修を実施している ○： 人材育成計画は策定していないが、必要な研修を計画的に実施している ×： 計画的に研修が行われていない、または研修内容が十分とは言えない	×	×	×	×

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
⑩ 経営状況、事業内容等を勘案した職員給与制度に関する規程を整備し、適正に運用しているか	◎： 法人独自の給与規程を整備し、適正に運用している	◎	◎	◎	◎
	○： 市給与体系を一部準用した規程を整備し、適正に運用している ×： 規程がない、または市給与体系を全部準用した規程を整備している				
⑪ 職員の能力や実績を適正に評価し処遇や給与などに反映させる人事評価制度・給与制度を導入し、適正に運用しているか	◎： 人事・給与制度を整備し、適正に運用している	○	○	○	○
	○： 整備（検討）中、または各制度はあるが十分機能していない ×： 整備予定なし				
⑫ 業務内容、業務量に応じた組織機構の見直し（課・係の再編成、事務分掌の変更等）に取り組んでいるか	◎： 毎年度検証し、必要に応じて見直しをしている	◎	◎	◎	◎
	×： ほとんど見直ししていない				
(イ) 個人情報の保護					
⑬ 個人情報の保護に関する規程等を整備し、公表しているか	◎： 規程等を整備し、公表している	○	○	○	○
	○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし				
(ウ) 再委託の見直し					
⑭ 受託事業の再委託比率が50%を超えていないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	
	再委託比率 (%)	29.2	27.3	27.2	
	<合理的理由>				◎ ◎ ◎ ◎
	◎： 再委託はない、または再委託比率は50%を超えていない ○： 50%を超えているが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 50%を超えており、合理的理由がない				
⑮ 受託事業の再委託比率が高まっていないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	
	再委託比率 (%)	29.2	27.3	27.2	
	<合理的理由>				◎ ◎ ◎ ◎
	◎： 再委託はない、再委託比率は低下している、または横ばいである ○： 上昇傾向にあるが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 上昇しており、合理的理由がない				
⑯ 受託事業の再委託にあたっては、外部委託基準（ルール）等を整備するとともに、コスト低減のために入札方式や契約方法を工夫するよう努めているか	◎： 再委託はない、または基準等を整備し、コスト低減に努めている	○	○	○	○
	○： 基準等は整備していないが、コスト低減に努めている ×： 入札方式や契約方法を見直していない				

組織運営の健全性 点検結果計（点検項目：16項目）	◎	7	7	7	7
	○	6	6	6	6
	×	3	3	3	3

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次点検		第二次点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(4) 財務の健全性							
(ア) 財務環境								
① 当期利益を継続的に確保しているか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度				
	当期損益 (千円)	▲ 34,697	▲ 54,631	▲ 2,688,982	×	×	×	×
◎：十分確保している (当期を含め3年・2年連続黒字) ○：確保している (当期のみ黒字) ×：継続的に確保できていない (当期を含め赤字)								
② 累積欠損金を計上していないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度				
	累積損益 (千円)	▲ 951,695	▲ 1,006,326	▲ 3,695,308	×	×	×	×
◎：累積欠損金はない ○：累積欠損金はあるが、減少傾向にある ×：累積欠損金は横ばい、または増加傾向にある								
③ 自己資本 (正味財産) 比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度				
	法人設定の適正值 (%)	25.0	27.6	30.1				
	実績値 (%)	9.4	8.2	▲ 242.6				
	<適正值の考え方> 財政金融統計月報762号の「業種別財務営業比率表」の不動産、物品賃貸業数値を参照し、適正值を設定した。				×	×	×	×
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある								
④ 流動比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度				
	法人設定の適正值 (%)	120.4	113.7	124.9				
	実績値 (%)	50.1	139.5	145.8				
	<適正值の考え方> 財政金融統計月報762号の「業種別財務営業比率表」の不動産、物品賃貸業数値を参照し、適正值を設定した。				○	◎	○	◎
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある								
⑤ 借入金割合が適正か	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度				
	借入金割合 (%)	84.0	85.8	325.1				
	<合理的理由>				×	×	×	×
◎：借入金は少ない、または横ばい、低くなっている ○：上昇傾向にあるが、合理的理由がある ×：上昇傾向にあり、適正でない								
⑥ 借入金は返済計画どおり着実に返済されているか					○	×	○	×
	◎：借入金は少ない、または借入金当初の返済計画どおり返済が可能 ○：当初の返済計画の見直しを行った ×：返済計画の見直しが必要である							

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
⑦	将来の法人運営上必要な経費などを適正に積み立てているか（退職給付引当資産、減価償却引当資産、施設建設積立金など）	○	○	○	○
	◎： 適正に積み立てており、不足は生じていない ○： 一定程度積み立てているが、経営上重大な不足は生じていない ×： 積み立てていない、または経営上重大な不足が生じている				
(イ) 資産運用の適正性					
⑧	資産の運用に関する規程（管理運用に係る事務手続き、資金運用体制、資金運用に関する方針や運用基準を明確化したもの）を整備し、適正に運用しているか	○	○	○	○
	◎： 規程等にもとづき、適正に運用している ○： 規程等は整備していないが、適正な運用に十分留意している ×： 不十分であり改善の余地がある				
(ウ) 財務諸表の適正性					
⑨	土地開発公社経理基準要綱を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか【地方公社】	-	-	-	-
	◎： 土地開発公社経理基準要綱を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する -： （評価対象外）				
⑨	一般に公正妥当と認められる企業会計の基準を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【会社法法人】	◎	◎	◎	◎
	◎： 企業会計の基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する -： （評価対象外）				
⑨	最新の公益法人会計基準（平成20年改正基準）を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【公益法人】	-	-	-	-
	◎： 最新の公益法人会計基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する -： （評価対象外）				
⑩	「経理事務精通者による監事への就任」、「経理事務精通者による経理指導・相談体制の構築」、「外部監査制度の導入」により計算書類等の適正化に努めているか	◎	○	◎	○
	◎： 2つ以上に対応している ○： 1つに対応している ×： いずれにも対応していない				

財務の健全性 点検結果計（点検項目：10項目）	◎	2	2	2	2
	○	4	3	4	3
	×	4	5	4	5

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(5) 透明性				
(ア) 情報公開に関する取組					
① 情報公開に関する規程を整備し、かつ公表しているか					
◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし		○	○	○	○
② 事業報告や決算報告等は、自ら積極的に公表しているか					
◎： 関係法令等で定められている以上の項目も公表している ○： 関係法令等で定められている項目のみ公表している ×： 関係法令等で定められている項目の一部のみを公表している		○	○	○	○
③ 公表にあたっては、解説や補足説明を付すなどして市民に分かりやすい公表に努めているか					
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である		○	○	○	○
④ 公表している事業報告や決算報告等は、法人事務所及び市所管課に備え置くほか、インターネット（HP）も活用して公表しているか					
◎： インターネット（HP）を活用して公表している ○： インターネット（HP）による公表を今期予定している ×： インターネット（HP）による公表を検討中、または予定なし		×	×	×	×
⑤ 第三セクターとして市民ニーズに応じた、ディスクロージャー（情報公開）及びアカウンタビリティ（説明責任）に努めているか					
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である		○	○	○	○

透明性 点検結果計（点検項目：5項目）	◎	0	0	0	0
	○	4	4	4	4
	×	1	1	1	1

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果			
					第一次点検		第二次点検	
					前年	今年	前年	今年
評価項目	(6) 自立性							
(ア) 経営に対する市の関与								
① 市からの収入（競争によらないもの）割合は上昇傾向になっていないか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	○	○	○	○
	市からの収入（競争によらないもの）割合（%）	11.1	11.4	12.4				
<合理的理由> 他の営業収益額が減少したことから、相対的に市からの収入の割合が上昇した								
◎：市からの収入（競争によらないもの）はない、または割合は低下傾向にある ○：割合は横ばいである、または割合は上昇傾向にあるが合理的な理由がある ×：割合は上昇傾向にある								
② 自主財源の確保に向けた取組を実施し、かつその成果は向上しているか	点検指標名	H25年度	H26年度	H27年度	○	○	○	○
	不動産賃貸業売上高（千円）	436,659	366,900	328,737				
<取組事例の主なもの>								
◎：積極的に取り組んでおり、一定の成果をあげている ○：積極的に取り組んでいるものの、成果にはつながっていない ×：取り組んでいない								
③ 補助金については、対象とする事業の公益性を十分に勘案するとともに、その成果等を的確に評価することにより見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎
◎：補助金はない、または成果等を的確に評価し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する								
④ 委託料等については、市として期待する成果をあらかじめ明確にするとともに、額の算定にあたっては、類似民間事業者とも比較・検証し、見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎
◎：委託料等はない、または毎年度検証し、見直しを図っている ×：不十分であり改善を要する								
⑤ 市職員の派遣にあたっては、派遣目的・職務・人数・期間等に関する必要性を明確にするとともに、必要最小限に止めているか					◎	◎	◎	◎
◎：市職員の派遣はない、または十分留意し、必要最小限に努めている ×：不十分であり改善を要する								
⑥ 役員の選任にあたっては、職務権限や責任にふさわしい人材や、民間の経営ノウハウを有した人材などの登用に努めているか					×	×	×	×
◎：必要に応じて積極的に民間登用に努めている ×：市職員兼務、市職員OBが大半を占めている								
⑦ 市所管課からの指導等や第三セクター経営評価委員会からの提言等について積極的に対応しているか	取組事例の主なもの				○	○	○	○
	アウガ経営戦略委員会から平成24年1月に提出された「アウガの経営支援に関する提言書(最終報告)」を踏まえ、健全経営の中・長期的な安定へとつなげるため、第2次再生計画を策定し、自主・自立の経営基盤を確立すべく、市と協議しながら、取組みを進めている。							
◎：十分に対応している ○：十分に対応している項目が多い ×：十分に対応していない								

自立性 点検結果計（点検項目：7項目）	◎	3	3	3	3
	○	3	3	3	3
	×	1	1	1	1